

吳版年間指導計画

校番【 20 】 【

呉市立港町 】小学校

6 学年

育成を目指す資質・能力			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等			1 学 期	2 学 期	3 学 期	計																										
設定した資質・能力・目指す子ども像 (資質・能力を身に付けた中期の具体の姿)			各教科等において習得すべき知識や学び方・重要な概念(見方・考え方)等を確実に身に付け、日常生活に活用している。			思考力・判断力・表現力			日常生活の中から課題を見付け、分析・比較するなどして解決方法を考え、根拠を明確にしてまとめ、表現している。			主体性			自ら目標を持ち、主体的に挑戦したり探求したりするとともに、自他を尊重し互いの考えや思いを大切に、認め合いながら協力して取り組んでいる。			1 学 期	2 学 期	3 学 期	計																				
Ⅰ 中学校区の学力・体力分析における課題改善のための単元等																			カリキュラムマップに位置付けた単元等																						
各教科等		各教科等の見方・考え方		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月															
				単元名等		単元名等		単元名等		単元名等		単元名等		単元名等		単元名等		単元名等		単元名等		単元名等		単元名等		単元名等															
国語		言葉による見方・考え方を働かせるとは、児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること		たずね合って考えよう 「さなぎたちの教室」 漢字を使う① 社会教育施設へ行く②		意見を書いて考えよう 三字以上の熟語の構成 漢字を使う② 情報のとびら 原因と結果		いざというときのために 文と文とのつながり 漢字に親しもう 文字の移り変わり 「風切るとつばさ」		漢字を使う③ つなぐ言葉の使い分け 「イナモト」の役割を競い比べよう① 六年生の本だな②		「いま始まる新しいいま」 心の動きを俳句で表そう 話し合って考えを深めよう 漢字を使う④ 場面に応じた言葉づかい 「模型のまち」		「模型のまち」 漢字を使う⑤ その修飾は、どこにかかっている？ 「『永遠のこども』プラスティック」 情報のとびら、情報の信頼性と著作権 「模型のまち」 発信しよう、私たちのSDGs		「模写のまち」 漢字を使う⑥ 漢字を使う⑦ 漢字を使う⑧ 「海の中のいのち」		発信しよう、私たちのSDGs プレゼンテーションをしよう 漢字を使う⑥ 複合語 「海の中のいのち」		「海の中のいのち」 漢字を使う⑧ 漢字を使う⑨ 漢字を使う⑩		古典芸能への招待状 言葉の移り変わり 「宇宙への思い」 漢字を使う⑨ 情報のとびら、未来への情報活用		どう立ち向かう？もしもの世界 表現をくふうする 「君たちに伝えたいこと」／春に		成長をふり返って未来へ進もう 「君たちに伝えたいこと」／春に		48		58		37		143							
書写		おかしなプログラム 書写の学び方 学習の準備をしよう 点画のつながり		点画のつながり		文字と文字のつながり		書く速さ インタビューのメモを取ろう		組み立て方(三つの部分)		用紙に合った文字の大きさ 分かりやすく伝える書き方		発表のためのポスターを書く 書き初めをしよう		書き初めをしよう		配列(小筆)		六年生のまとめ		書写展覧会を開こう		2		11		13		8		32									
社会		社会的現象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、現象や人々の相互関係に着目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること		1わたしたちの生活と政治 導入(オリエンテーション) ①わたしたちのらしと日本国憲法 ②国の政治のしくみと選挙		②国の政治のしくみと選挙 ③憲法を学ぶ(国語)で学ぶ(文法・語法)の活用 いかな		2日本の歴史 導入(オリエンテーション) ①縄文のむらから古墳のくへ ②天皇中心の国づくり		②天皇中心の国づくり ③貴族のくらし ④戦国・江戸幕府と政治の安定		④武士の世の中へ ⑤今に伝わる室町文化 ⑥戦国・江戸幕府と政治の安定		⑥戦国・江戸幕府と政治の安定		⑦戦国・江戸幕府と政治の安定		⑧町人の文化と新しい学問 ⑨明治の国づくりを進めた人々		⑨明治の国づくりを進めた人々		⑩明治の国づくりを進めた人々		⑪明治の国づくりを進めた人々		⑫明治の国づくりを進めた人々		⑬明治の国づくりを進めた人々		⑭明治の国づくりを進めた人々		⑮明治の国づくりを進めた人々		37		39		29		105	
算数		対象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること		算数のとびら 1. 対称な図形 2. 文字と式		2. 文字と式 3. 分数×整数、分数÷整数 4. 分数×分数		4. 分数×分数 5. 分数÷分数 6. 場合を順序よく整理して どんな計算になるのか 算数の自由研究		7. 円の内積 8. 立体の体積 9. データの整理と活用		9. データの整理と活用		10. データの整理と活用 11. 比とその利用 12. 比と反比例		11. 比とその利用 12. 比と反比例		12. 比とその利用 13. 比と反比例		13. 比とその利用 14. 比と反比例		14. 比とその利用 15. 比と反比例		15. 比とその利用 16. 比と反比例		16. 比とその利用 17. 比と反比例		17. 比とその利用 18. 比と反比例		18. 比とその利用 19. 比と反比例		65		70		40		175			
理科		【見方】 「エネルギー」を柱とする領域 主として量的・関係的な視点で捉えること 「粒子」を柱とする領域 主として質的・実体的な視点で捉えること 「生命」を柱とする領域 主として時間的・多面的な視点で捉えること 「地球」を柱とする領域 主として時間的・空間的な視点で捉えること 【考え方】 現象の因果関係の過程の中で用いる。比較、関係付け、条件制御、多面的に考えること		自然とともに生きる わたしたちの地球と環境 1 ものが燃えるしくみ ①ものの燃え方と空気の動き ②燃やすはたらきのある気体 ③ものが燃えるときの空気の变化		2 ヒトや動物の体 ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		3 ヒトや動物の体 ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		4 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		5 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		6 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		7 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		8 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		9 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		10 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		11 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		12 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		13 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		14 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		15 生物どうしのつながり ①食べ物のゆくえ ②ヒトや動物と空気 ③体をめぐめる血液 ④生命を支えるしくみ		38		38		29		105	
音楽		音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けすること		心をつなぐ歌声 つばさをついて 1. 歌声をのびやかに響かせること 2. 歌声をのびやかに響かせること 3. 歌声をのびやかに響かせること		(共)おぼろ月夜 2. いかに響かせるか 3. 歌声をのびやかに響かせること 4. 歌声をのびやかに響かせること		ラバーズ コンサート ボイスアンサンブル 1. 歌声をのびやかに響かせること 2. 歌声をのびやかに響かせること 3. 歌声をのびやかに響かせること		3. 和音のひびきや音の重なりを感じる 4. 和音のひびきや音の重なりを感じる 5. 和音のひびきや音の重なりを感じる		「雨のうた」の和音で旋律づくり 4. 曲想の変化を楽しむ 5. 思いのメロディー		「雨のうた」の和音で旋律づくり 4. 曲想の変化を楽しむ 5. 思いのメロディー		ハンガリー舞曲 第5番 5. 音楽と生活のつながり 6. 音楽と生活のつながり 7. 音楽と生活のつながり		箱根八里ノ荒城の月 (共)ふるさと (共)わかれは海の子		6. 日本や世界の音楽に親しもう (共)越天楽今様 雅楽「越天楽」 世界の国々の音楽		7. 音楽で思いを伝えよう きつと届ける																			